

## 電波時計 取扱説明書 (報時付掛時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造  
発売元

リズム株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12  
https://www.rhythm.co.jp

### アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのお客様サービスが受けられない場合は、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

#### ●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間で標準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

#### ●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

#### お問い合わせ先

お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してあります製品番号(型番)をお伝えください。例 4MN○○○、4MNA○○、8MN○○○、8MNA○○

(フリーダイヤル)

お客様相談室 0120-557-005

受付時間 9:00~17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

(Y2009)

### 安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

必ず守ってください。

#### 図記号の説明

⊘は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

ⓘは、指示する行為を必ず守ることを示しています。

#### ⚠ 警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

❗ 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない  
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

❗ 梱包用のポリ袋をかぶらない  
窒息する恐れがあります。

❗ 電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない

●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

●電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

❗ 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。

#### ⚠ 注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

❗ 電池の⊕⊖を正しく入れる  
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

❗ 下記のような場所では使わない  
性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

❗ 強い振動や衝撃を与えない  
故障や破損の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器からの風が当たる所。
- 温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
- 火気のそば。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を生じさせる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

❗ 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない  
さびや故障の原因になります。

❗ めれた手でさわらない  
さびや故障の原因になります。

❗ 分解や改造をしない  
けがや故障の原因になります。

### 電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

#### 電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 幼児の手が届かない所に置く。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。

#### ■電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

#### ■電池の寿命について

- 付属の電池は、お試用として工場出荷するときに入れてありますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。
- 買い置き電池は、保管状態や電池の使用推奨期限により、電池寿命が短くなる場合があります。

#### 電池・時計の廃棄

- お住まいの地区自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

#### お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

## GUARANTEE 保証書

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。

必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。

※品名・型番

※保証期間 お買い上げ 年 月 日より 1年間

お客様 氏名 \_\_\_\_\_ 様  
ご住所 \_\_\_\_\_  
TEL( ) \_\_\_\_\_

※販売店印(住所、店名、電話番号)

※印は販売店記入

- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

#### ■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

#### 保証について

※送料・出張料は、実費をいただきます。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4. お客様のお手元に渡ってからの取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7. ご使用中に生じる外観上の変化(ケース、ガラスなどの小キズ)
8. 電池の交換

### 電波時計について

#### 電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

#### 標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はかね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

(http://jjy.nict.go.jp)

※アドレスは変更になる場合があります。

#### 標準電波の送信停止について

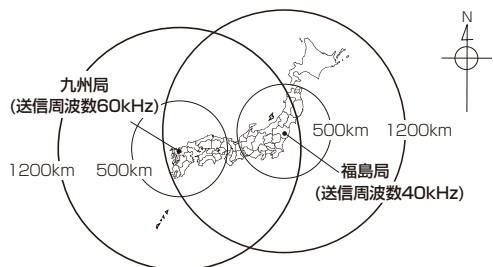
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

#### 海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波を受信できません。海外でのご使用になるとときには、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてください。ONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

#### 電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

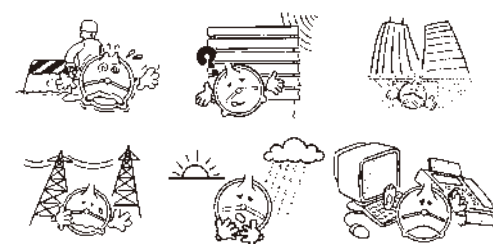


この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

#### 電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの中、ビルの谷間、地下
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



### おもな製品仕様

使用温度範囲	-10~50℃ *結露しないこと
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度 時分針 目盛りに対して±3度 標準電波を受信しない場合 平均月差±20秒(温度が5~35℃のときのクォーツ精度)
推奨電池	表示用:単2形アルカリ乾電池 JIS規格 LR14 1.5V 2個 内蔵:リチウム電池 CR2032 1個
電池寿命	表示用:約1年 *標準電波の受信に成功し、報時を音量中位で17回/日使用したとき。 内蔵:5年以上 *通常では電池を交換する必要がありません。
報時機能	毎正時、30分に報時
報時精度	表示時刻に対して±1秒
報時音	電子音 選択方式
入/切/自動消音	スライドスイッチ *自動消音:明暗センサーと連動して暗所停止
音量調節	ロータリー式ボリューム
報時モニター	あり
防滴防塵機能	なし

電波受信機能	標準電波受信による時刻修正
受信局	福島局/九州局 自動選択
受信ON/OFF	スライドスイッチ
受信回数	最少 1回/日 最多 12回/日

標準電波受信開始時刻条件	回数	開始時刻
▶ 受信成功から72時間以内の場合	1~3回/日	AM 2:16:40, AM 3:16:40, AM 4:16:40
▶ 連続72時間以上受信に失敗している場合	12回/日	奇数時の16分40秒 例 AM 1:16:40, AM 3:16:40など
▶ 初めから受信に失敗している場合		
▶ 手動で時刻合わせをした場合		

※付属の乾電池(マンガンまたはアルカリ)は、動作確認のためのお試用です。工場出荷時に同梱してありますが、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。使用する電池は、お試用電池の種類に関わらず、「おもな製品仕様」に記載の推奨電池をお求めください。

※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の推奨電池に交換した場合に適用となります。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

#### 付属品

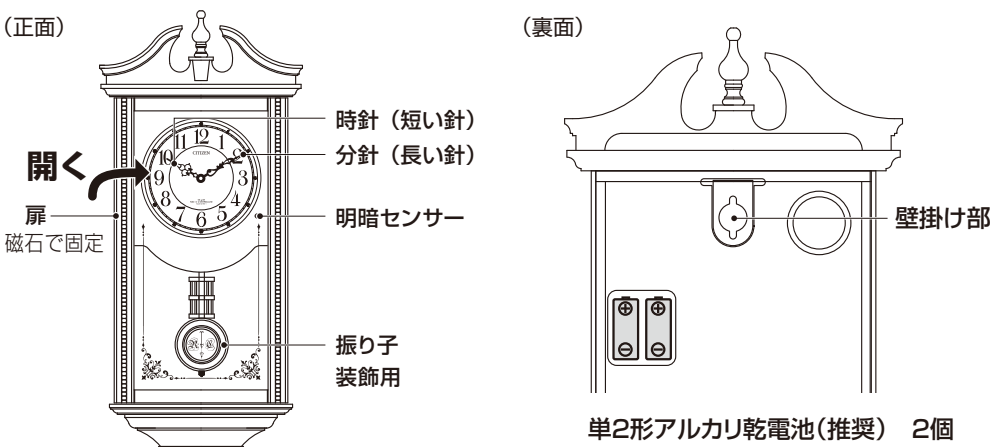
お試用電池	2個	リチウム電池(内蔵)	1個	木ねじ	1個
振り子	1個	取扱説明書・保証書	本書		

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。



## 各部の名称と役割

図は操作説明用ですので、実際と商品と異なることがあります。



### 注意 針に触れない

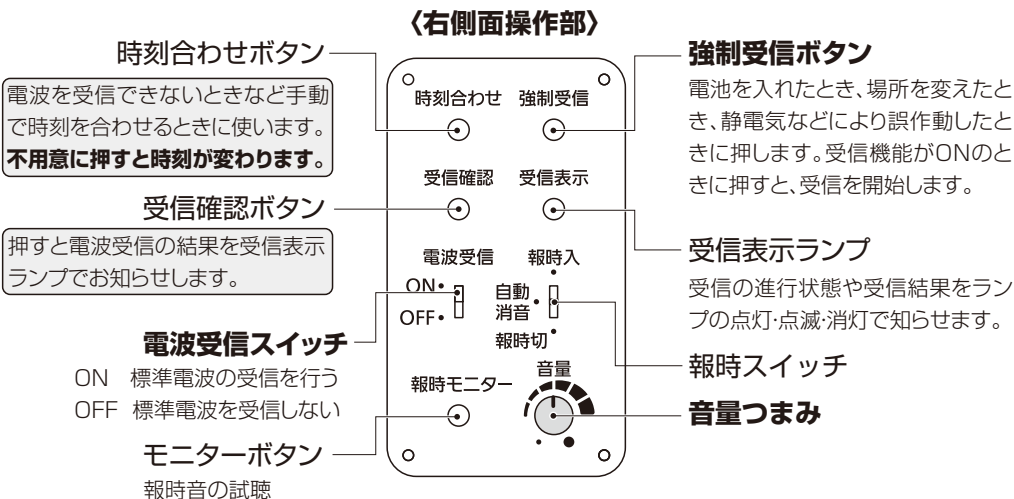
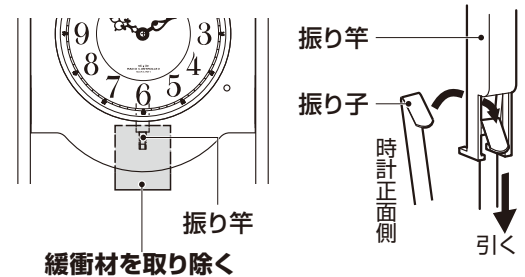
時針、分針に触れると時間違いやけがの原因になりますので触れないでください。

### 注意 電池を電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて入れる

電池の⊕⊖を逆向きに入れると電池の発熱、破裂、液漏れの原因になります。

### 振り子を取り付ける

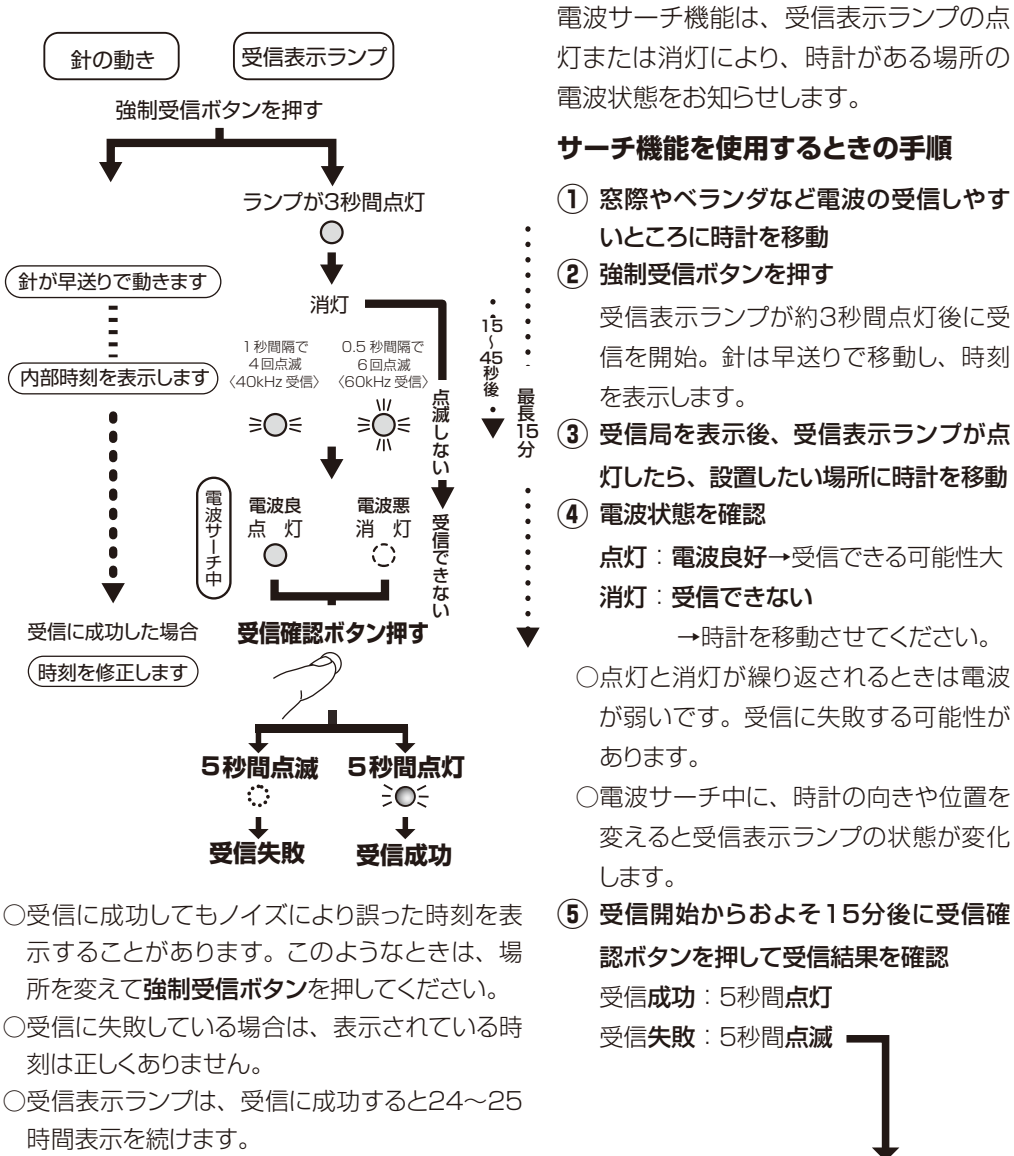
- ①扉を開ける  
時計を掛けたままで、扉を開くと時計が傾くことがありますので、注意してください。
- ②緩衝材を取り除く
- ③振り子を取り付ける
- ④扉を閉める  
緩衝材は、機構を保護するものです。輸送の際は、必ず取り付けてください。



## 内蔵電池による時刻のバックアップ

この時計は、工場出荷時に電波を受信させ、内蔵電池により時を刻みつけています。表示用電池を入れて強制受信ボタンを押すと、およそ3分以内に内部時刻を表示します。表示用電池が消耗したときや取り外したときは、内蔵電池に切り替わります。※内蔵電池のみでは、針による時刻表示や報時を行いません。※電波受信スイッチがOFFに設定されているときは、受信を行いません。※表示用電池により時刻表示がされているときには、内蔵電池を使いません。※通常の使いかたでは内蔵電池の交換は不要です。

## 標準電波一受信の流れとサーチ機能の使いかた



## 標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく  
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える／受信をやり直す  
電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。
- 時刻を合わせ使用する  
ベランダなど屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

## 手動での時刻合わせ……受信できないときや任意の時刻に合わせてとき

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。※時刻合わせボタンを離しているのに、針が早送りで動いている場合は、通常の針の動きになってから操作してください。※電波受信スイッチがONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

操作

- 時刻合わせボタンを押してすぐに離れた場合は1分進みます。
- 時刻合わせボタンを押し続けた場合は早送りで動きます。

秒は、時刻合わせボタンを離れたときにゼロ秒になります。

## 電波受信機能のON/OFF切り替え操作

電波受信スイッチをONにすると、定期的に標準電波の受信を試み、受信に成功すると必要に応じて、時刻を修正します。電波受信スイッチをOFFにすると受信を行いません。クォーツ精度になります。※電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送りで動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。

## ご使用方法 電池を入れて時刻を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、**手動での時刻合わせ**を参照してください。

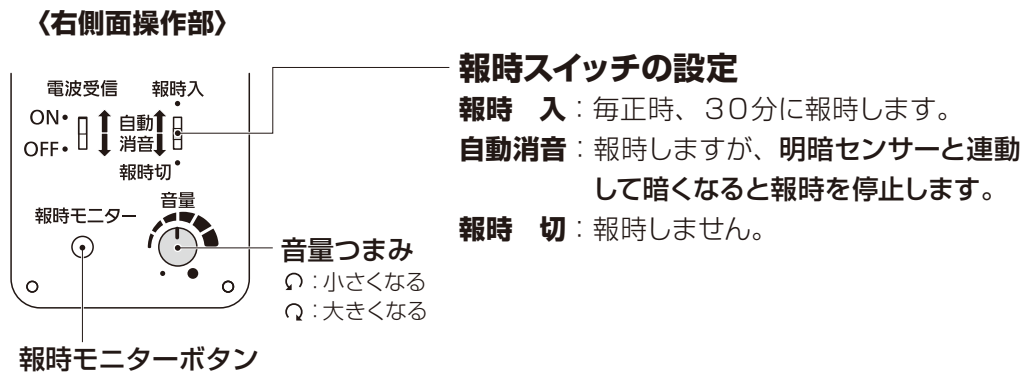
この時計は、時刻を合わせて出荷しております。  
表示用の単2形乾電池を入れてから強制受信ボタンを押してください。  
強制受信ボタンを押してからおよそ3分以内に時刻を表示します。  
※時刻合わせボタンを押さないでください。押すと時刻が変わってしまいます。  
※時刻を表示する前に針が一時停止したり、順方向または逆回りで早送りしたりします。  
下記の手順に従ってください。

- ①電波受信スイッチがONになっていることを確認する  
OFFになっているときはONにしてください。
- ②音量を最小にする  
操作中に報時が大きな音で鳴らないようにします。
- ③表示用の電池を2個入れる
- ④強制受信ボタンを押す
- ⑤振り竿部の緩衝材を取る
- ⑥振り子を取り付ける
- ⑦(時計の掛けかた)に従って時計を掛ける
- ⑧お好みに応じて報時機能を設定する

標準電波の受信結果の見かたは、**標準電波一受信の流れとサーチ機能の使いかた**を参照してください。

## 報時機能の設定

報時は、毎正時に時刻に応じた数のチャイムが鳴ります。たとえば、12時のときは、12回チャイムが鳴ります。また、30分には1回チャイムが鳴ります。



## 音量の調節

報時モニターボタンを押して、報時している間に音量つまみを回して調節します。

## 報時音の試験

報時モニターボタンを押すと報時音を奏でます。報時は時計が指している時刻に対応します。たとえば、3時35分のときは3時の報時音が鳴ります。※手動で時刻を合わせた直後は、チャイムの数が合わないことがあります。

## 時計の掛けかた

### 注意 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、掛け具(木ねじ)に壁掛け部がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。
- 掛け部以外の所に掛けない。

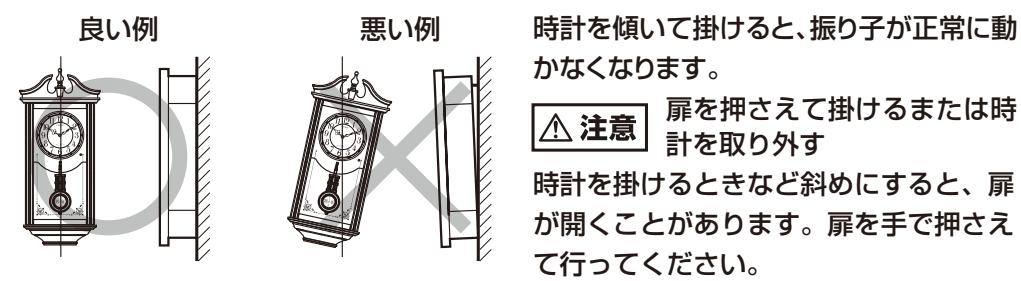
## 木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



## その他の壁面の場合

- 石こうボードやコンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

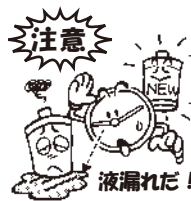


## このようなときには、電池の交換が必要です

- 針は動いているのに報時をしない。(報時スイッチは報時入または自動消音)
- 時間が合わない。  
電池の残量が少なくなると標準電波の受信を行いません。
- 針、振り子が止まった。

### 注意 電池の交換 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

- 電池からの液漏れにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。
- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 古い電池と新しい電池、マンガンとアルカリ乾電池を混ぜて使わない。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。



## 明暗センサーのはたらき……報時の自動消音

明暗センサーが暗いと判別した場合、報時スイッチが「自動消音」のときは報時を停止します。昼間や照明器具により照明されているときでも、明るさが不足するとセンサーが働きます。

## 静電気の影響について

静電気により、誤作動をすることがあります。このようなときには、強制受信ボタンを押してください。